

福祉生活病院常任委員会資料

(平成24年12月14日)

[件名]

- 9 人形峠環境技術センターにおける停電について
(危機対策・情報課) … 1
- 10 北朝鮮の「人工衛星」と称するミサイル発射の対応について
(危機対策・情報課) … 2

人形峠環境技術センターにおける停電について

平成24年12月14日
危機対策・情報課

12月12日午後11時6分、鳥取県は（独）日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター（岡山県苫田郡鏡野町上斉原）より異常事象発生の報告を受け、同日同時刻、情報連絡室を設置し、状況の確認を行いました。

12月13日午前2時45分、異常がないとの報告を受けるとともに、これによる放射能汚染がないことを危機管理局中央監視室データにより確認し、同日午前4時、情報連絡室を廃止しました。

12月13日午後、県は、人形峠環境技術センターの現地を確認しました。

1 発生日時

平成24年12月12日(水)午後9時37分頃

2 発生場所

日本原子力研究開発機構 人形峠環境技術センター

3 施設名

人形峠環境技術センター内施設

4 状況及び人形峠環境技術センターの処置事項

- ① 12月12日午後9時37分頃、特高受変電設備の点検中に停電が発生。非常用発電機が起動した。
- ② 全施設、核燃料物質の取り扱い作業はなし。敷地内モニタリングポストの警報発報はなかった。
- ③ センター内管理区域の排気設備は順次立ち上がり、負圧は維持されていた。
- ④ 非常用発電機は起動したが、濃縮工学施設（使用施設）のOP-1排気設備が1時間20分程度停止した。しかしながら、管理区域内の負圧は維持されていた。
- ⑤ 12月13日午前0時23分から商用電源に切り替え、0時34分頃には、全施設の給排気設備を通常の運転状態にした。
- ⑥ 12月13日午前1時35分頃、全施設、設備で異常のないことを確認した。
- ⑦ 12月13日午前2時30分頃、排気モニタにより、環境への影響がないことを確認した。

5 原因

上記①、④について、人形峠環境技術センターが原因調査中

6 環境への影響

なし

7 被ばく

なし

北朝鮮の「人工衛星」と称するミサイル発射の対応について

平成24年12月14日
危機対策・情報課

北朝鮮は、12月12日(水)午前9時49分頃に「人工衛星」と称するミサイルを発射しました。その概要と本県の対応状況は次のとおりです。

1 「人工衛星」と称するミサイルの発射状況

12月12日午前9時49分頃、北朝鮮西岸から南に向かって1発の「人工衛星」と称するミサイルが発射された。ミサイルは分離し、1つが朝鮮半島西方の洋上(予告落下区域内)へ、もう1つが、朝鮮半島南西の洋上(予告落下区域内)へ、もう1つがフィリピン東方の洋上(予告落下区域内)へ落下したものと推定されている。(消防庁資料)

2 本県への影響

- (1) 落下物等 県内への落下物は報告されていない。
- (2) 漁船 安全確認済(該当の海域で航行していなかった。)
- (3) 教育委員会の海洋練習船 安全確認済(現在は出港していない。)
- (4) DBSクルーズ 安全確認済(発射時はロシアのウラジオストックに停泊中)
- (5) アシアナ航空米子便 安全確認済(発射当日の運航なし)

3 県及び市町村の体制

(1) 県の体制

- ① 12月1日に危機管理局に「情報連絡室」を設置し、情報収集を開始した。
- ② 12月6日に「鳥取県ミサイル発射対応委員会」を開催し、本県への影響に備えた。
- ③ ミサイル発射時に即応できるように、12月10日から12日の午前6時半から午後0時10分の間、職員14名による体制(広報課、水産課を含む。責任者：城平危機管理局長)をとった。
- ④ 総合事務所及び関係部局とは、不測の事態が生じた場合のために、連絡体制をとった。
- ⑤ 12月12日午後5時55分、政府の「北朝鮮による「人工衛星」と称するミサイル発射事案に関する官邸対策室」が「北朝鮮関連情勢に関する情報連絡室」に改組された等の連絡を受け、②のミサイル発射時の即応体制を解除した。なお、①の「情報連絡室」は設置を継続し、情報収集に当たった。
- ⑥ 12月13日午後1時27分、消防庁の情報連絡室が閉鎖されたことの連絡を受け、危機管理局に設置していた「情報連絡室」を解除した。

(2) 市町村の体制

- ・ 19全市町村においても、担当の職員を配置し、県との連絡体制及び情報の収集等を行う体制をとった。[県のミサイル即応体制の解除により、市町村の体制も解除]

4 本県の対応状況

(1) 情報の発信

- ・ ミサイル発射午前9時49分頃、沖縄通過午前10時1分頃
- ・ 第1報(発射)については、エムネットが午前9時56分に入電してから、市町村へのFAX配信は約2分(午前9時58分)、とりネット等への配信は約2～3分(午前9時59分)で完了し、ミサイルの沖縄通過に間に合った。
- ・ 第2報(沖縄通過)については、エムネットが午前10時3分に入電してから、市町村へのFAX配信まで約5分(午前10時8分。送り先が第1報の補足情報((西岸発射)を受信中のため、送信が遅延)、とりネット等への配信は約2分(午前10時5分)で完了した。
- ・ 以下、第13報まで配信した。(その他、補足情報として2報を配信)

(2) 報道情報の活用

- ・ 第8報(NHK報道による警察庁の安全情報)については、前回4月の反省を踏まえた「緊急情報配信指針」に基づき、市町村へのFAX配信まで約5分、とりネット等へ配信まで約

3～4分で完了した。

※ 「緊急情報配信指針」 外国を含めた公的機関の発表等確度の高い情報が報道機関等に配信された場合の対応を定めたもの。

(3) 外国人対応

・とりネットについては、配信に併せて外国語（英語・韓国語・中国語）による外国人対応を実施した。

(4) Jアラート情報

・Jアラートについても、沖縄地方についてはJアラートが起動し、第1報（発射）、第2報（沖縄通過）が流れ、同時に県についてもJアラート画面上に文字情報が表示され確認できた。

5 情報受信・発信等対応状況

【県情報発信媒体】

①市町村等向け … 防災行政無線FAX

②県民向け … あんしんトリピーメール、とりったー、とりネット、とりネットモバイル版

③県情報共有 … 職員参集・情報提供メール

【ミサイル発射時刻 午前9時49分頃】

時刻	受信・配信状況	配信内容
09:55 09:56 09:58 09:59 10:01	1)第1報 ・Jアラート受信 ・エムネット受信 【①FAX送信完了】 【②③発信完了】 →市町村FAX受信確認	○発射情報 さきほど、北朝鮮から、「人工衛星」と称するミサイルが南方向に発射された模様です。
09:58 10:02 10:06	2)第1報の補足情報 ・エムネット受信 【①FAX送信完了】 →市町村受信確認	○FAX内容 ・9時49分頃、北朝鮮西岸から南の方向に発射
10:03 10:03 10:05 10:08 10:12	3)第2報 ・Jアラート受信 ・エムネット受信 【②③発信完了】 【①FAX送信完了】 →市町村FAX受信確認	○通過情報 北朝鮮の「人工衛星」と称するミサイルはさきほど沖縄県上空を通過した模様です。
10:07 10:11 10:13 10:17	4)第3報 ・エムネット受信 【②③発信完了】 【①FAX送信完了】 →市町村FAX受信確認	○10時1分頃、沖縄地方の上空を通過したと推定される。なお、破壊措置の実施なし。
10:12 10:15 10:18 10:22	5)第4報 ・エムネット受信 【②③発信完了】 【①FAX送信完了】 →市町村FAX受信確認	○10時5分頃、フィリピンの東300kmの太平洋に落下（推定）
10:15 10:18 10:19 10:22	6)第5報 ・エムネット受信 【①FAX送信完了】 【②③発信完了】 →市町村FAX受信確認	○落下群の2、9時58分頃、朝鮮半島の西約200kmの黄海に落下（推定）
10:20 10:24 10:24 10:28	7)第6報 ・エムネット受信 【②③発信完了】 【①FAX送信完了】 →市町村FAX受信確認	○落下群の3、9時59分頃、朝鮮半島の南西約300kmの東シナ海に落下（推定）
10:20 10:24 10:28 10:35	8)第7報 ・エムネット受信 【①FAX送信完了】 →市町村FAX受信確認 【②③発信完了】	○北朝鮮が「人工衛星」と称するミサイルは、12月12日9:49分頃、北朝鮮西岸から南方向に発射され、落下群の1が10:05分頃、フィリピンの東約300kmの太平洋に、落下群の2が9:58分頃、朝鮮半島の西約200kmの黄海に、落下群の3が

		9:59分頃、朝鮮半島の南西約300kmの東シナ海に落下したものと推定
10:33 10:36 10:38 10:40	9)第8報・テレビ覚知 【②③発信完了】 【①FAX送信完了】 →市町村FAX受信確認	○「警察庁発表」北朝鮮の「人工衛星」と称するミサイルによる国内への被害はない模様ですとの報道(NHK)
10:42 10:45 10:50	10)第8報の補足情報 ・エムネット受信 【①FAX送信完了】 →市町村受信確認	○FAX内容「ミサイル落下に関する総括情報」
10:44 10:46 10:54 10:56	11)第9報・電話等確認 【②③発信完了】 【①FAX送信完了】 →市町村FAX受信確認	○北朝鮮の「人工衛星」と称するミサイルによる鳥取県への被害はない模様です。
11:04 11:08 11:11	12)第10報・FAX受信 【①FAX送信完了】 →市町村FAX受信確認	○件名：北朝鮮による「人工衛星」と称するミサイル発射に関する消防庁の対応
11:49 11:52 11:55	13)第11報・FAX受信 【①FAX送信完了】 →市町村FAX受信確認	○件名：安全保障会議に対する総理指示事項 ・落下物による被害を改めて確認すること ・情報収集を一層徹底すること ・関係諸国と連携しつつ対処すること
11:57 11:59 12:05	14)第12報・FAX受信 【①FAX送信完了】 →市町村FAX受信確認	○件名：北朝鮮による「人工衛星」と称するミサイル発射に関する消防庁の対応(第2報)
12:09 12:10 12:14	15)第13報・FAX受信 【①FAX送信完了】 →市町村FAX受信確認	○件名：内閣官房長官声明 ・政府は発射直後に安全保障会議を開催し、対応に万全を期しているが、現在の所被害報告はない。 ・北朝鮮の今回の発射は、我が国として容認できるものではなく、北朝鮮に対して厳重に抗議し、遺憾の意を表明する。 ・併せて、関連する国連安保理決議の即時かつ完全な履行を求める。 ・政府は、引き続き国民の安心・安全の確保に万全を期する。 ・国民には、冷静に平常どおりの生活を送っていただきたい。